神戸市立 西神戸医療センター広報誌

そよかぜ

第54号

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

神戸市立 西神戸医療センターの基本理念

神戸西地域に根づいた
安心・安全な医療をめざします

発行日／令和３年４月
編集人／総務課長　奥田　高大

http://nmc.kcho.jp/

神戸市立西神戸医療センター　検索

〒651-2273 神戸市西区糀台５丁目７番地１
TEL：078－997－2200（代表）

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC2083 号

院　長
京極　高久

このたび、神戸市立西神戸医療センター院長を拝命いたしました京極でございます。

当院は、「神戸西地域に根づいた安心・安全な医療をめざします」を基本理念に、急性期病院として救急医療や高度専門医療の充実、市民病院として結核医療や災害時の医療への対応、地域の中核病院として地域医療の促進をすすめてまいりました。昨年実施いたしました患者満足度調査のアンケートにおきましても、地域の皆様方が当院に期待する機能は救急医療の充実が１位、がんに対する医療の充実が２位でした。

昨年度は新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るった１年でした。日本においては、今年３月初旬には第３波がようやく落ち着く気配をみせておりましたが、まだまだ収束にはほど遠い状況です。

当院におきましても１月下旬より新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ強化のため、通常医療における入院・手術等の制限を余儀なくされており、地域の皆様方には多大なるご迷惑をおかけしております。

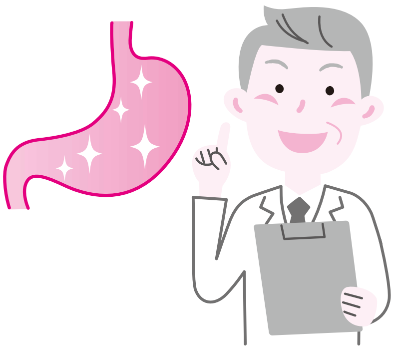
現在、新型コロナ感染症に対するワクチン接種がようやく始まろうとしておりますが、通常の日常生活が取り戻せるようになるまではまだまだ時間がかかると思われます。

このような状況下におきましても、地域の皆様方から信頼され、安心・安全な医療が提供できるように、職員一同努力してまいりますので、暖かいご支援をよろしくお願い申しあげます。

診療科紹介（消化器内科）

消化器内科では、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸の消化管疾患と肝臓、胆道（胆のうや胆管）、膵臓の疾患を対象に診療を行っています。消化管疾患では、精度の高い内視鏡機器を用いて診断を行い、疾患の早期発見、早期治療につなげています。その際、苦痛の少ない鎮静剤を用いた内視鏡検査を選ぶことができます。近年増えつつある胆・膵疾患では、エコー、CT、MRIなどの検査に加えて、カメラの先にエコーが付いた超音波内視鏡検査（EUS）を行う機会が増え、より小さい病変をとらえて、組織（細胞）を採取して診断できるようになっています。

がん治療においては、できるだけ負担が少ないことを心がけ、新しい治療も積極的に取り入れて、外科や放射線治療科とも十分に連携しながら、患者さんにとってより良い治療を選んで行っています。



救急疾患では、消化管出血や急性胆管炎などの「待てない病気」にも対応し、夜間・休日であっても緊急の治療が実施できる体制を整えています。どうぞ安心してご来院下さい。

「糖尿病教室だより」発行のご案内

当院では糖尿病患者さんの療養をサポートするため、医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士・臨床心理士など様々な職種が集まり、糖尿病療養指導支援チームとして活動しています。

新型コロナウイルス感染症対策として、今年度も「糖尿病教室」は中止とさせていただきます。かわりに、毎月１回「糖尿病教室だより」を発行していますので、毎日の療養生活に是非ご活用ください。

発行日：毎月第３火曜日より１か月

場　所：当院２階 受付１番 124 号室の前

※当院のホームページからでも閲覧いただけます。

発行No.	配布期間	担　当　者
No.1	４月２０日～	内分泌糖尿内科医師
No.2	５月１８日～	臨床検査技師
No.3	６月１５日～	管理栄養士
No.4	７月２０日～	外来看護師
No.5	８月１７日～	理学療法士
No.6	９月２１日～	薬剤師

がん総合診療部

がん総合診療部は2013年4月、より質の高い、安全ながん医療を患者さんに提供する目的で発足しました。院内のがん診療に携わる各職種のメンバーが参加しており、その構成内容は

①患者会チーム
②がんリハビリテーションチーム
③緩和ケアチーム(2021年4月より緩和ケアセンターに拡充)
④がん相談支援センター
⑤がん教育・研究チーム
⑥キャンサーボード(原発不明がん等について各診療科・部署が意見を出しあい最良の診断・治療を目指す)
⑦クリニカルインディケーターチーム(当院のがん患者統計をまとめる)
⑧広報チーム
⑨化学療法センター・化学療法委員会　の９つからなります。

各チームが研鑽、協力し日々当院のがん診療のレベル向上に努めています。
またがん総合診療部を中心に国指定がん診療連携拠点病院の厳しい指定要件をクリアし、2015年4月に初回認定を受け、2019年4月には認定更新を認められました。
がん診療連携拠点病院とは厚生労働省が認可する国指定(兵庫県には14病院)、都道府県が認可する県指定(9病院)の２種類があります。
その指定を得ることは当院のがん診療が高いレベルでバランスよく供給出来ている保証をいただいた事になります。
５大がんをはじめ全てのがんに当院は対応しています、どうか安心してお任せください。

感染防止対策室

家庭内感染予防のためにできること

新型コロナウイルス感染症の家庭内感染が増加しています。
無症状であれば自分が感染していることに自覚がないため、会話などで生じる飛沫を介して、同居者にうつしてしまいます。そのため、まずは**“家庭外での感染を防ぐ（家庭内に持ち込まない)”**ことが重要になります。

1．家庭外での感染を防ぐ
- ノーマスクでの会話を避けましょう。
- ３密となるような場所への不要不急の外出を避けましょう。

2．家庭内での感染を防ぐ
- 帰宅後すぐにうがい・手洗いをしましょう。
- できるだけ換気をしましょう。

3．同居者に少しでも疑わしい症状がある場合
- 有症状者と他の同居者の部屋を可能な限り分けましょう。
- 有症状者とタオルや食事を別々に分けましょう。
- 有症状者と接する人はできるだけ限られた方が対応しましょう。
- 取っ手、ドアノブなどの共用する部分を消毒しましょう。
- お互いにマスクを着用しましょう。

病院からのお知らせ

新しいCT・3ステラMRIが導入されました

Aquilion Prime SP I-Edition
（キャノンメディカルシステムズ製）

- 令和３年２月に最新式 80 列 CT が導入されました。
- 最新の X 線光学系技術や deep-learning を用いた新たな画像再構成技術により、「これまで以上に患者さまにとってやさしい検査」の実現を目指します。

- 令和３年３月に MAGNETOM Vida（シーメンスヘルスケア製）が稼働いたしました。
- AI 等の最新技術を搭載しており、画質・快適性向上、検査短時間化が可能です。
- 安心・安全な環境で、更に進化した MRI 検査を実施してまいります。

オリジナル そよかぜクイズ

第一問

ある学校の男子生徒は 230 人、女子生徒は 260 人です。この学校で部活動に所属する生徒は 418 人で、そのうち女子生徒は 226 人いました。部活動に入っていない男子生徒は何人でしょう？

第二問

下のひらがなを並べ替えると、ある言葉ができあがります。どんな言葉でしょう？

① そいしのめよ

② ぷーちっりゅ

③ あまいらぐ

官製はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、性別、職業、ご希望のプレゼント、広報誌「そよかぜ」のご感想をご記入いただき、

〒651-2273　神戸市西区糀台５丁目７番地１　西神戸医療センター広報担当

までおよせください。締切は令和３年７月末日。正解者３名様にプレゼント（図書カード 2,000 円分またはドトールバリューカード 2,300 円分）を進呈します。応募者多数の場合は抽選。発表は発送をもって代えさせていただきます。

53 号の答え ▶ 【第一問】 玉葱　牛蒡　胡瓜　　【第二問】 ４７

第18回患者満足度調査結果のご報告

当院では、医療サービスについて患者さんの要望を明確にし、より信頼される病院を目指すことを目的として、一年に一度、アンケート調査を実施しております。18回目となる今回の調査におきましても、みなさまから多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。

院内ではワーキンググループを中心に、調査結果で明らかになった問題点等について、改善に取り組んでまいりました。今後も、積極的に改善に取り組んでまいります。

今後も随時調査を実施し、より良い評価をいただけるよう努力してまいります。

神戸市立西神戸医療センター院長

実施状況について

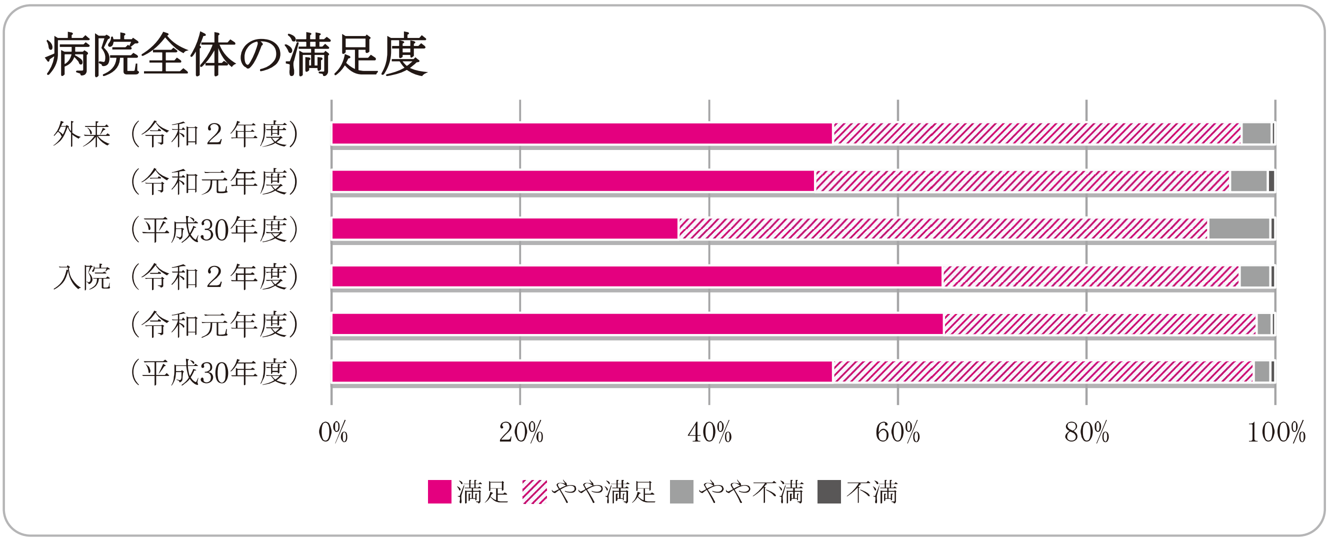
（１）実施期間

令和２年10月12日(月)、13日(火)

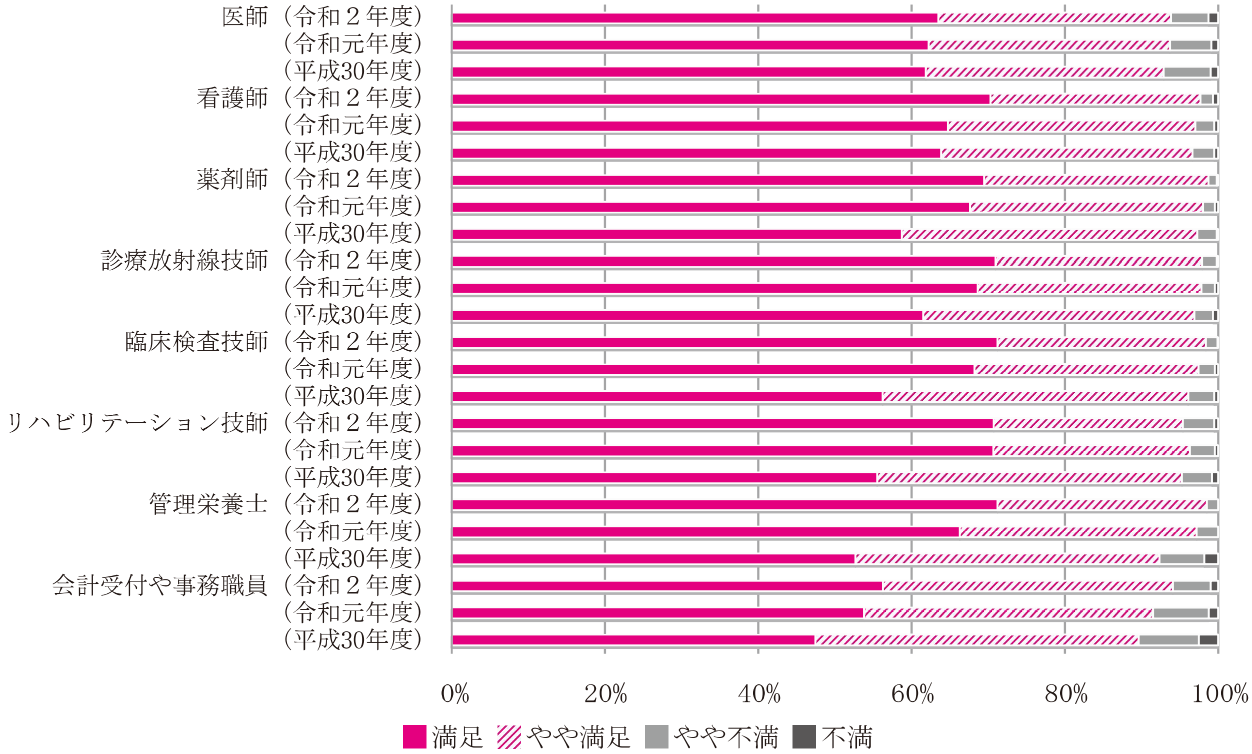
（２）回収状況

	患者数	配布数	配布率	回収数	回収率	自由意見
入院	385人	297部	77.1%	226部	76.1%	59件
外来	2,912人	2,034部	69.8%	1,707部	83.9%	188件
合計	3,297人	2,331部	70.7%	1,933部	82.9%	247件

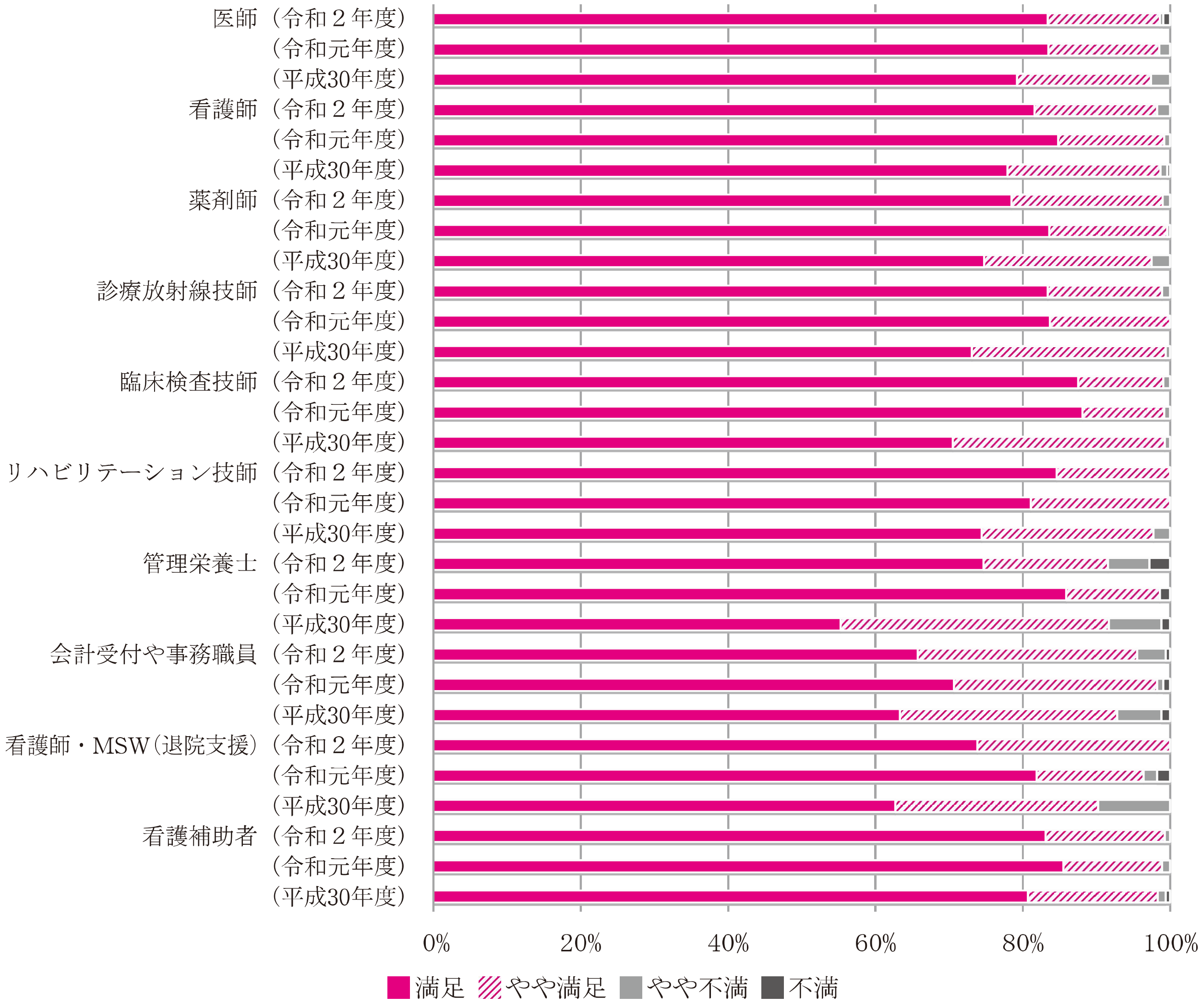
（３）調査結果



職員の対応について－外来－

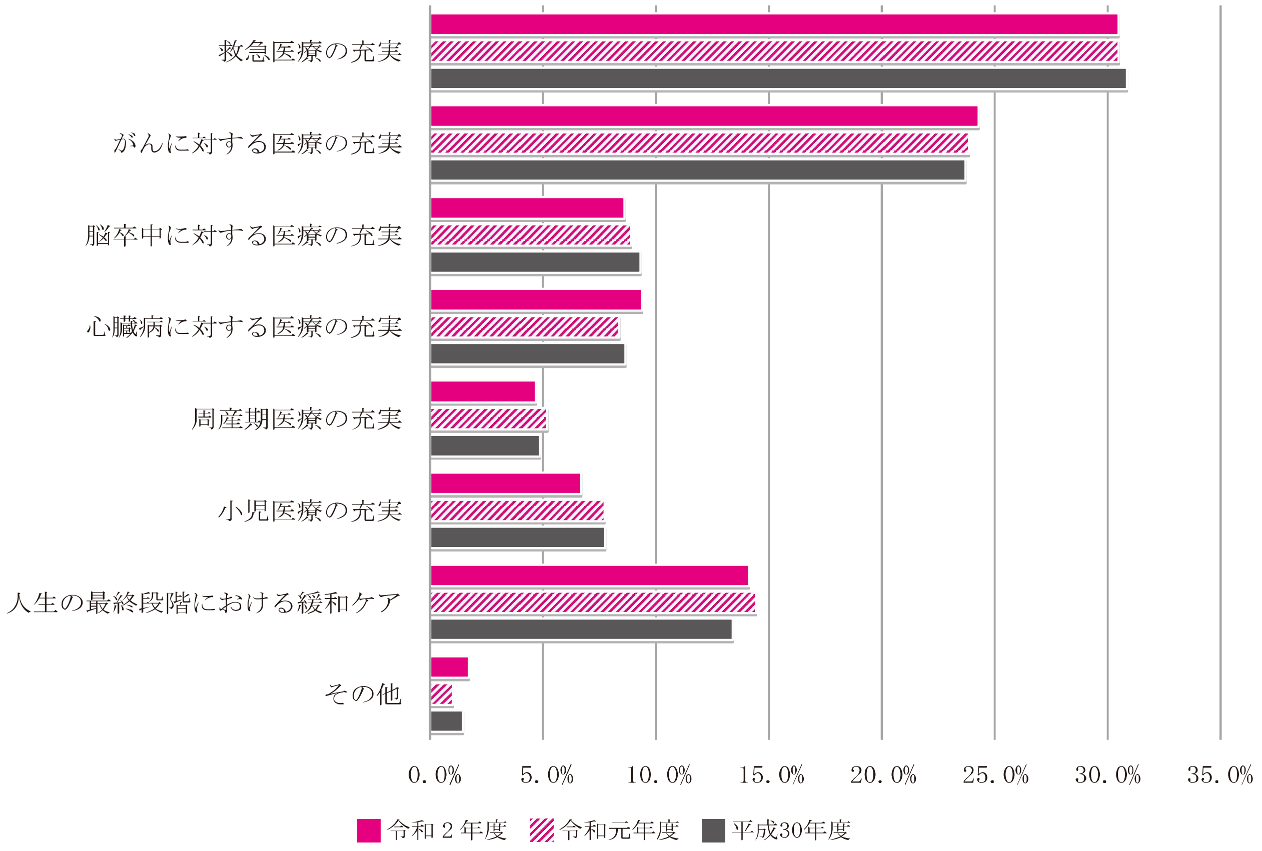


職員の対応について－入院－



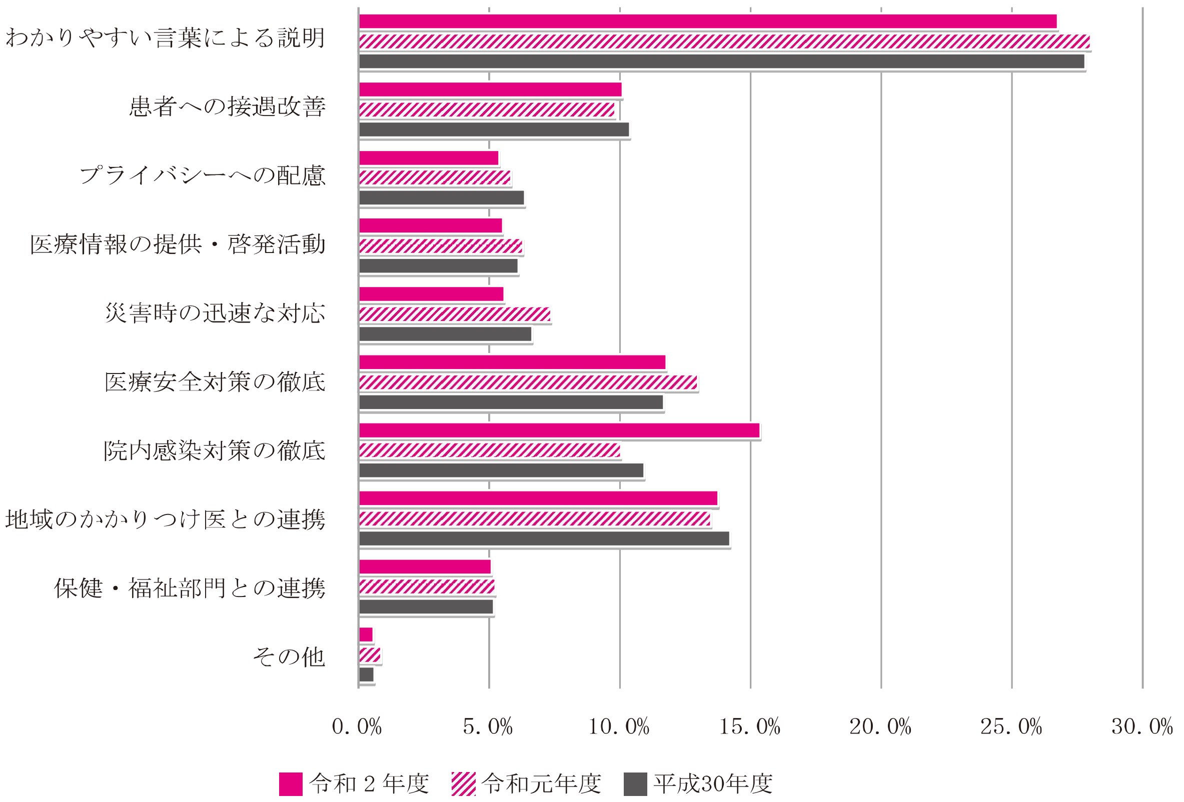
当院に必要な役割・機能－医療機能－

（複数回答可）

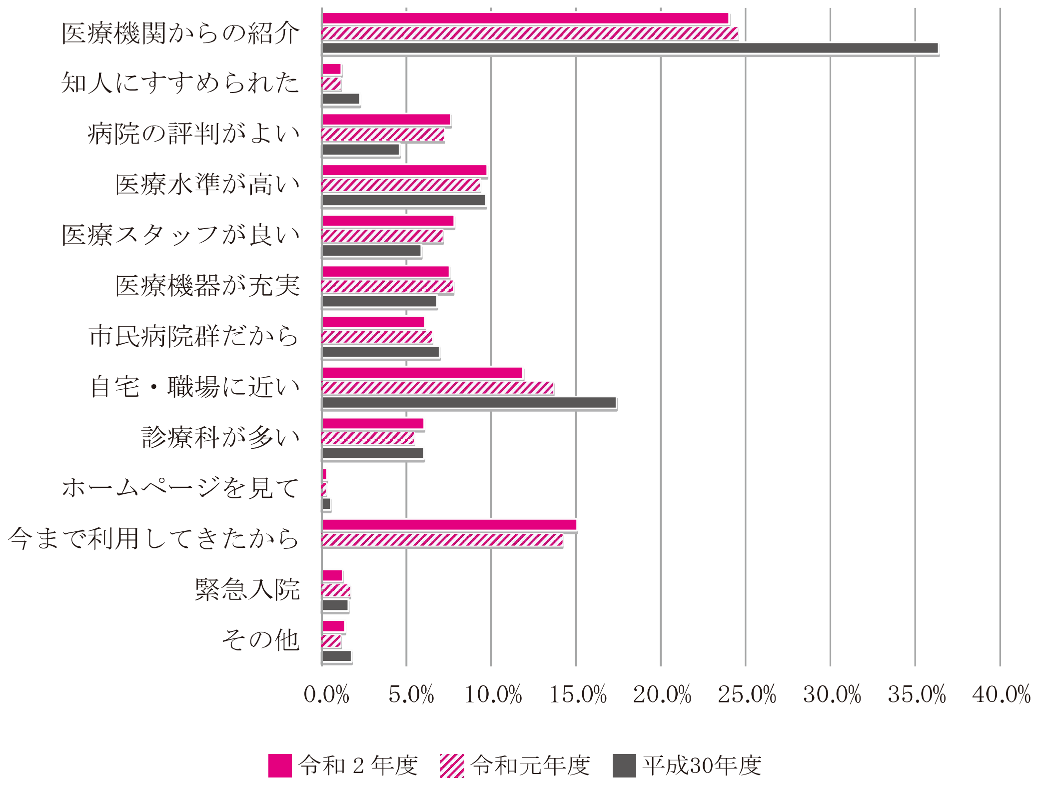


当院に必要な役割・機能－医療機能以外－

（複数回答可）



当院を選んだ理由



自由意見についての検討項目

患者さんからの意見	改善結果
Wi-Fiが不安定である。強化してほしい。	令和2年12月に病棟のWi-Fiアンテナ強度を上げました。外来につきましては、接続が不安定な場所を調査した上で改善していきます。
ホームページが見づらい。	デザイン、レイアウトを修正する準備を行っています。令和3年中に刷新予定です。
外来の受診票を入れる場所がわかりにくい。	令和3年3月に、外来受付に強化ガラス設置等の施設改修を行いました。これに併せて、受診票を入れる箱及び案内について見直します。
診療費の分割払いができるようにしてほしい。	令和3年2月に診療費支払機を更新しました。これにより、クレジットカードでの支払方法(一括·分割)が選択できるようになりました。

心臓リハビリテーションとは

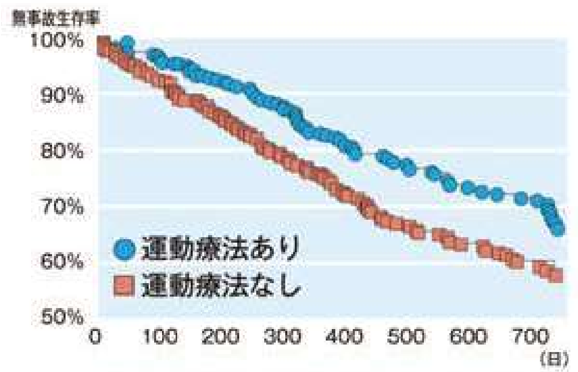
当院の取り組み

心筋梗塞や心不全といった心疾患は、一度発症すると再発する危険性の高い病気なので、予防することが大切です。心臓リハビリテーションを行うことで、発症や再発を予防できることが分かっています。

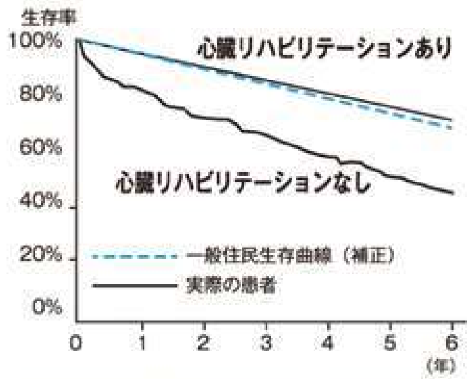
リハビリというと運動をするイメージが強いですが、心臓リハビリテーションには食事療法や服薬管理、メンタルヘルスといった要素も含まれます。生活習慣を色々な分野からサポートするために、医師や看護師をはじめ、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師、薬剤師など多くの職種が協力し合っています。

当院では昨年より、外来心臓リハビリテーションの受け入れを拡大しました。入院中だけでなく退院後もリハビリを継続することで、再発予防効果を高めることができます。また、日常生活に戻ったあとの不安や疑問に対するサポートも重要な役割だと感じています。引き続き、より多くの方に心臓リハビリテーションを提供できるよう、スタッフ一同取り組んで参ります。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、外来心臓リハビリの新規受け入れは制限しています。



心不全患者の運動療法の有無による死亡と入院イベントの比較



心筋梗塞患者の心臓リハビリテーションの有無による一般住民との死亡イベントの比較

日本理学療法士協会「理学療法ハンドブック / 心筋梗塞・心不全」より引用

毎週木曜日にお得な情報を配信！

プレンティの LINE お友だち登録しよう！

▼友だち登録はこちらから

リアルタイムな情報をお届け
プレンティ公式情報配信アプリ
※詳しくは館内掲示のポスターをご覧ください。

PLENTY SEISHIN CHUO
105のショップ＆レストラン

神戸市営地下鉄「西神中央」駅降りてすぐ!!
営業時間 あさ10:00〜よる8:00
飲食及びサービス店等は営業時間が異なります。
〒651-2273
神戸市西区糀台5丁目2番3号
TEL：078-992-0001（代）
年中無休
ケータイからもアクセスできます www.plenty.jp